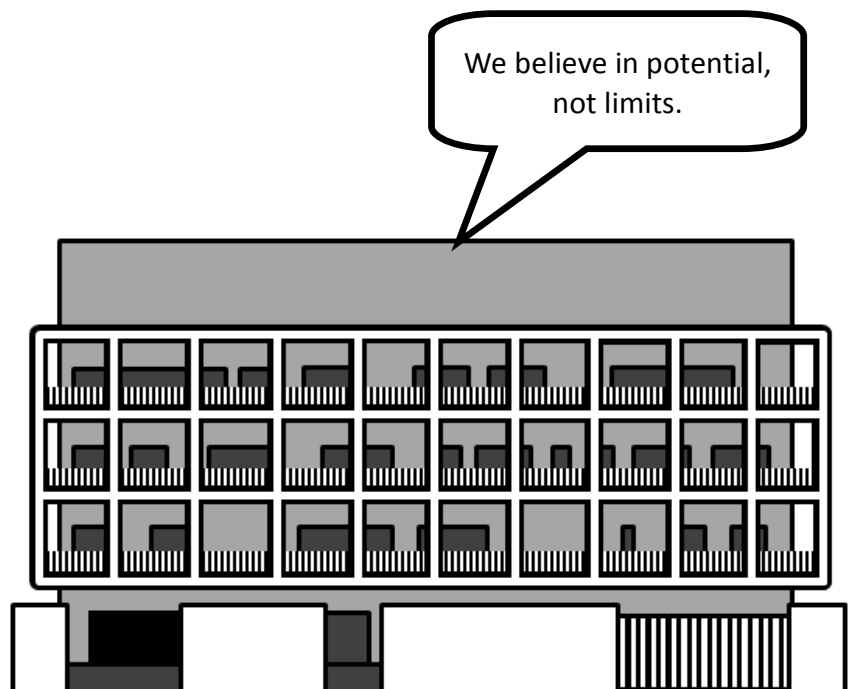


# 西宮市立こども未来センター 平成29年度 事業概要

Nishinomiya Children's Support Center  
Annual Report 2017

平成29年度第1回 西宮市立こども未来センター運営審議会 資料

平成29年5月29日(月)



# 目次

## I 組織運営体制

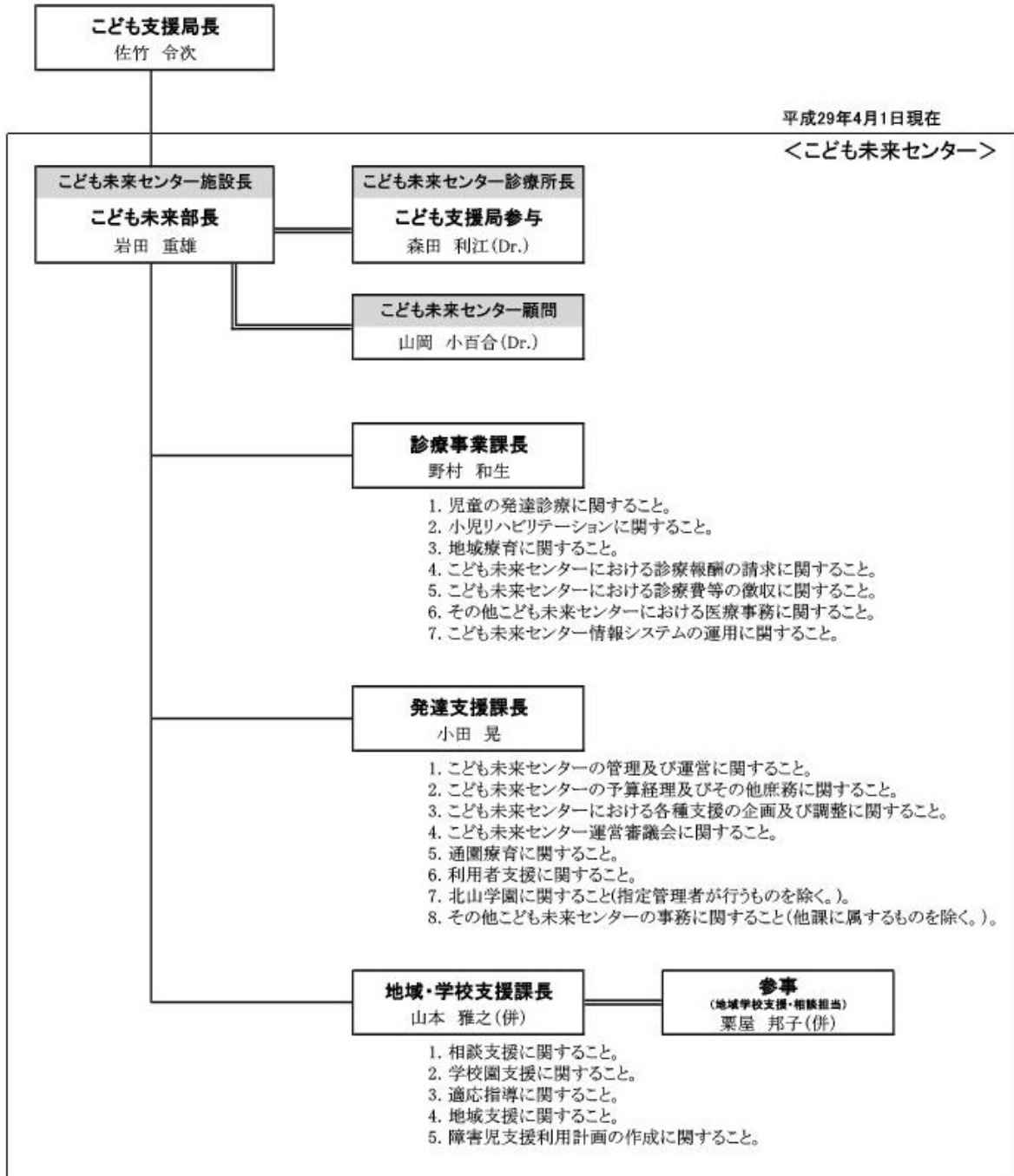
1 組織と事務分掌（平成 29 年度）	1
2 職員数	2
3 チーム編成	3

## II 事業概要

1 相談支援	
（1）電話相談・来所相談	4
（2）保護者支援	6
（3）かおテレビ（視線計測装置）	7
2 計画相談支援（本人中心支援計画）	7
3 診察・小児リハビリテーション	
（1）診療所	10
（2）理学療法（PT）	13
（3）作業療法（OT）	14
（4）言語聴覚療法（ST）	15
（5）心理療法	16
（6）障害児等療育支援事業	18
[囲み記事] 一時預かり事業	
4 通所支援	
（1）通園療育（児童発達支援センター「わかば園」）	18
5 発達支援	
（1）親子療育教室（外来保育）	25
（2）個別保育	27
（3）体験保育	27
（4）ほっこり広場	28
（5）保育所等訪問支援事業	28
6 スクリーニングサポート	
（1）適応指導教室（あすなろ学級）	30
（2）居場所サポーター	31
（3）西宮市在家庭学習支援システム（あすな Web クラブ）	31
（4）学校生活支援教室（のびのび教室）	32
7 学校・幼稚園・保育所との連携・支援	33
8 地域との連携	35
9 講座・研修・人材育成	
（1）一般向け	38
（2）専門職向け	38
（3）研修企画協力	40
（4）実習生受入	40
（5）ボランティア活動（受入）	40

# I 組織運営体制

## 1 組織と事務分掌（平成 29 年度）



## 2 職員数

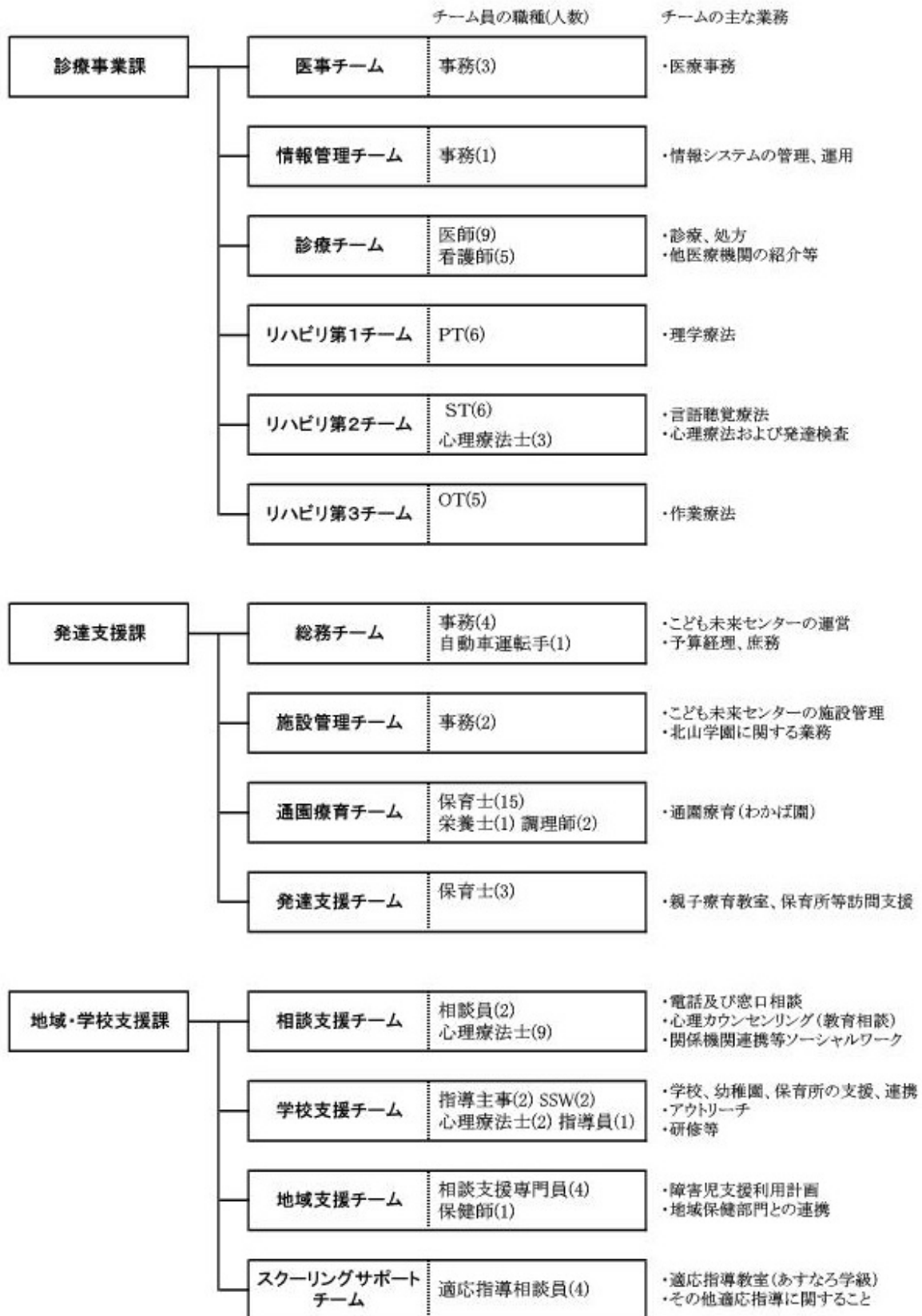
	職員数				平成29年4月1日現在 【再掲】部門別職員数			
		正規 (*1)	(内訳) 嘱託	臨時等 (*2)	部長級 ・参事	診療 事業課 (*3)	発達 支援課 (*4)	地域・ 学校 支援課
医師	11	2	4	5	2	9		
看護師	5	2	2	1		5		
理学療法士(PT)	6	4	2			6		
作業療法士(OT)	5	2	3			5		
言語聴覚士(ST)	6	4	2			6		
心理療法士	14	4	10			3		11
保健師	1	1						1
保育士	15	7	4	4			15	
栄養士	1		1				1	
調理師	2		1	1			2	
指導主事	4	4			1			3
相談員(社会福祉士等)	2	1	1					2
相談支援専門員	4		4					4
スクールソーシャルワーカー	2		2					2
指導員	1		1					1
適応指導相談員	4		4					4
事務	14	11	1	2	1	6	7	
自動車運転手	1	1			1			
計	98	43	42	13	5	40	25	28

\*1) 正規の人数には、併任の指導主事(参事級)1名を含む

\*2) 臨時等の人数には、応援医師5名を含む

\*3) 地域・学校支援課の相談員1名(正規)は、有資格者採用の事務職として相談業務に従事(相談員としてカウント)。

### 3 チーム編成



### III 事業概要

#### 1 相談支援

18歳までの子供の心身の発達や療育・福祉サービスに関すること、不登校・情緒不安定・性格等や教育に関する事など、悩みや困ったことについて、専門の相談員が電話や面談等により相談に応じます。

取り組み内容	概要	利用実績(前年度)
電話相談	こども未来センター利用のすべての入口となるのが電話相談です。悩みや不安、今の状況などを伺い、対応の方向性を一緒に考えます。 (月～金曜日の 9:00～19:00、土曜日の 9:00～17:00 に受付。日曜・祝日・年末年始を除く)	3,529 件 (2,477 件)
来所相談	センターでのさまざまな支援サービスを利用したり、関係機関との連携を検討する場合は、相談員が面談をさせていただき、もう少し詳しくお話を伺います。 相談内容を踏まえ、センター内の各種支援や、関係機関との連携などによる支援につないでいきます。	2,914 件 (914 件)
訪問・その他	相談支援は原則的に電話、来所で実施しますが、必要な場合に相談員が訪問したり、各種支援会議を主催あるいは参加したりします。	557 件 (930 件)

#### (1) 電話相談・来所相談

	H24	H25	H26	H27	H28
相談件数	5,440	5,612	5,408	6,593	7,000
電話	2,868	1,960	1,911	2,635	3,529
来所	2,527	2,693	2,516	3,028	2,914
訪問	45	58	41	136	416
メール・その他	-	901	940	794	141

**<平成28年度相談内容別集計（A）>**

内容 A	電話	来所	訪問	メール	その他	合計
	3,529	2,914	416	13	128	7,000
いじめ	7	5	2			14
不登校	570	786	26	2	11	1395
進路・学習	285	213	14	1	6	519
友人関係	39	34	3			76
異性・性	12	5	1			18
親子関係	100	66	4		4	174
しつけ・子育て	275	193	11	1	7	487
身体・健康・発達障害	1654	900	146	6	22	2728
性格	197	605	41	1	5	849
非社会的問題行動	25	2	10			37
学校・教師の指導	82	11	101	2	2	198
反社会的問題行動	15	2	16			33
その他	268	92	41		71	472

※兵庫県「ひょうごっ子悩み相談センター」への報告内容

**<平成28年度相談内容別集計（B）>**

内容 B	電話	来所	訪問	メール	その他	合計
	3,529	2,914	416	13	128	7,000
健康・医療	1,095	802	16	1	20	1,933
障害や病状の理解	506	252	9	2	16	783
福祉サービスの利用等	420	187	22	5	5	634
家計・経済						0
生活技術						0
社会参加・余暇活動	9	2				11
保育・教育	490	321	206		7	1,024
就労	1					1
不安の解消・情緒安定	351	188	15	2	2	556
家族関係・人間関係	238	206	23		7	474
権利擁護	3	2	2		1	8
その他	416	954	123	3	70	1,563

※西宮市生活支援課への「障害児等療育支援事業実施施設事業実施報告」

## (2) 保護者支援

### ア 保護者の交流の場の提供

保護者同士が気軽に話せる交流の場として定期的に、暖・暖↑（ダウン症児の保護者の会）の企画・実施、TESLi（地域校に通う保護者の会）の開催支援を行っています。その他保護者からのご希望に応じて交流の場を設定しています（人数は延べ数）。

#### <交流の場の提供の実績>

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
暖・暖↑	3回 (30人)	3回 (21人)	3回 (27人)	3回 (13人)	3回 (18人)	3回 (18人)	3回 (19人)	0回 (0人)	0回 (0人)
TESLi	4回 (26人)	4回 (19人)	4回 (19人)	4回 (17人)	4回 (13人)	4回 (14人)	4回 (13人)	1回 (3人)	0回 (0人)

### イ みやっこファイルかき方教室

子供が健やかに成長し、地域でその人らしく暮らし続けるために役立つように、と作られた「みやっこファイル」の活用、利用相談のためにかき方教室を開催しています。

#### <みやっこファイル書き方教室実績>

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
かきかた 教室	-	-	-	5回 (20人)	12回 (22人)	7回 (11人)	8回 (16人)	0回 (0人)	0回 (0人)

### ウ ペアレントトレーニング

こども未来センターの医師が発達障害児の保護者を対象にグループワークを通して我が子の課題に気づき、適切な対応ができるように指導、助言を行います。

#### 【グループ編成】

3グループ実施（各グループ月1回、6回シリーズ）

- ・初級グループ（第1金曜日）
- ・中級グループ（第4金曜日）
- ・中級グループ [2回以上受講者]（第3金曜日）

#### <ペアレントトレーニング実績>

	H27	H28
初級グループ	14人	10人
中級グループ(新)	10人	10人
中級グループ(継)	12人	15人
計	36人	35人

### エ ペアレント・プログラム（平成29年度からの新規事業）

子育てに難しさを感じる保護者が子供の行動の理解の仕方を学び、楽しく子育てをする自信をつけることや子育ての仲間を見つけることを目的として、平成29年度からペアレント・プログラムを行っています。



#### (4) かおテレビ（視線計測装置）

子供の社会性（人への興味や指さしへの反応等）の発達について、保護者と客観的な結果を共有し、子供の発達の理解を深めてもらうためのツールとして、かおテレビを使用しています。

子供を大人の膝の上に乗せてテレビ画面に映る動画（全 23 画面）を約 2 分間見てもらいます。子供の視線の軌跡が表示された動画を保護者と一緒にふり返り、その結果から読み取れる子供の傾向等を説明しています。

平成 28 年度は、地域保健課が実施する 1 歳 6 か月児健康診査に併設する会場（塩瀬地区・山口地区）で、かおテレビを体験する事業を行ないました。平成 29 年度からは、子育て総合センターやこども未来センターでも実施しています。

#### <平成28年度実績>

	回数	参加人数
塩瀬公民館	3 回	30 人
山口保健福祉センター	4 回	38 人

## 2 計画相談支援（本人中心支援計画）

障害福祉サービス等を利用する際に作成することとなっている「本人中心支援計画」（障害児支援利用計画、サービス等利用計画の西宮市における呼称）の作成やモニタリングを行い、本人やご家族の現在の状況や希望などを整理し、課題や方針などについて、支援関係者間での認識共有を図ります。

取り組み内容	概要	利用実績(前年度)
新規作成	<p>障害児が障害児通所支援（児童発達支援・放課後等デイサービスなど）を利用する際に、子供の保護者からの依頼を受け、その子供が最も適切なサービスを受けられるよう、相談支援専門員が関係機関との連絡調整及び共通理解を図るための計画書を作成します。</p> <p>※平成 24 年 4 月の障害者自立支援法・児童福祉法の一部改正により、原則として障害福祉サービス・障害児通所支援サービスを利用する際に計画の作成が必要になりました。</p>	<p>新規作成件数 158 件 (92 件)</p>
モニタリング	支援開始後、一定期間ごとにモニタリング（継続障害児支援利用援助）を行い、計画の見直しを行います。	<p>モニタリング件数 251 件 (57 件)</p>
支援会議	本人を中心とした計画作成について、本人（保護者）、関係施設（学校園、児童デイ等）の関係者、担当相談支援専門員が協議します。	<p>開催件数 347 件 (149 件)</p>
訪問	相談支援専門員が、本人の自宅を訪問して日常生活全般の状況を伺い、課題等の把握を行います。（平成 28 年 12 月より実施）	<p>訪問件数 58 件</p>

#### <計画相談支援実績>

（単位：件）

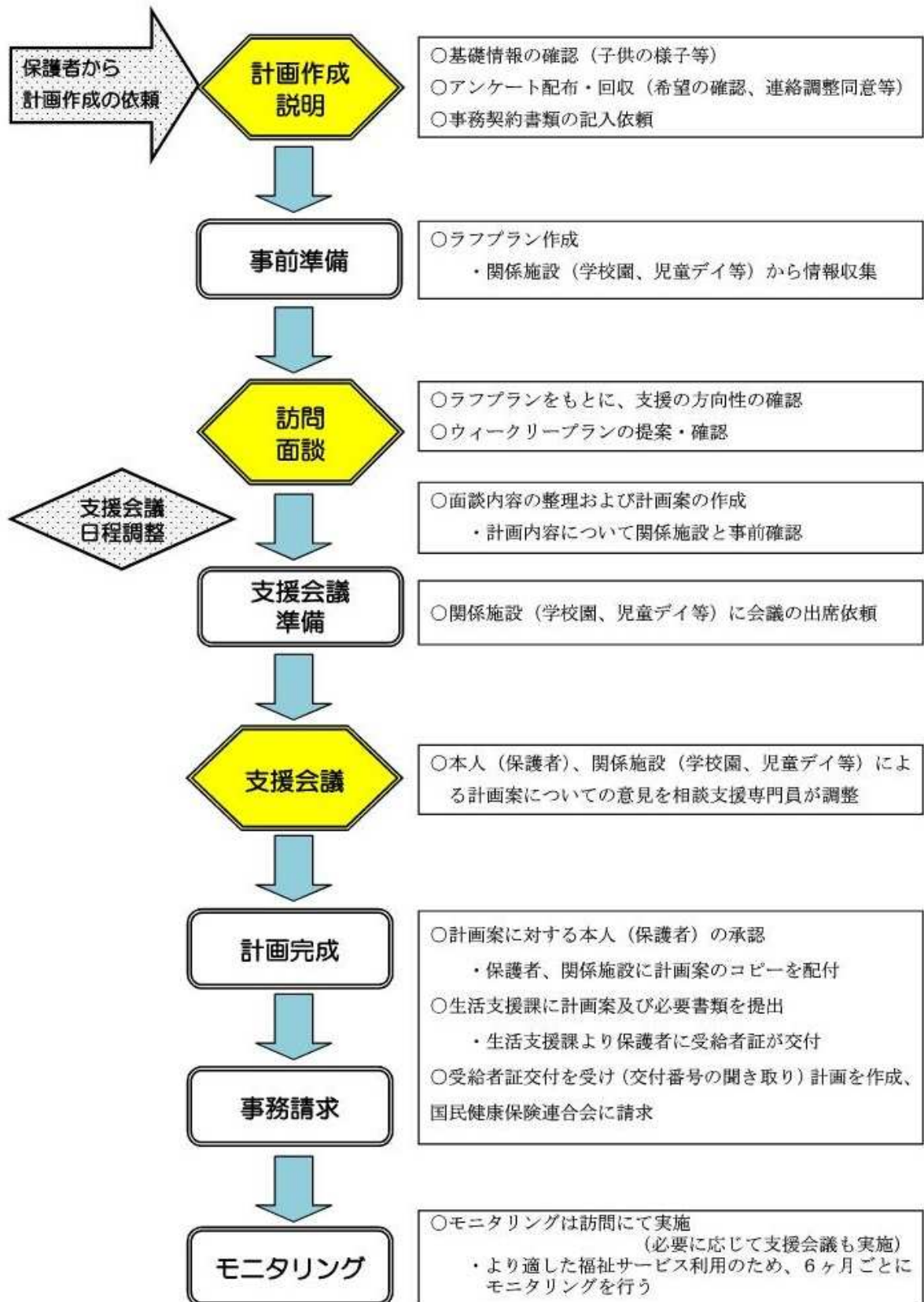
	H26	H27	H28
新規作成	42	92	158
モニタリング	-	57	251

<本人中心支援計画書>

本人中心支援計画案（サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案）

利用者氏名（児童氏名） 会議実施場所 参加者	保護者氏名（児童の場合） 利用者負担上限額	本人中心支援会議実施日	平成 年 月 日
本人及び家族の思い			
総合的な援助の方針			
大きな希望・目標	それに向かっての具体的な実行計画 （一定の実行期間を明示）	本人	それぞれの人が何をしたいのか（役割） （友人・地域） （保育所・幼稚園・学校等） 留意事項
暮らしの場 家庭での生活 について			
（学日 校中 生活 な活動 など）			
余 暇 ・ 活 動 し み			
福祉サービス等の 種類・内容・量 （頻度・時間）		提供事業所名 （担当者名・電話）	
モニタリング期間	1・2・3・4・6・12ヶ月ごと（平成 年 月 ～ 平成 年 月） （実施月 4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月）	モニタリング期間 設定理由	
本人署名欄：		事業所名 相談支援専門員署名：	次回見直し予定日： 年 月 日

## 障害児支援利用計画（本人中心支援計画）作成の流れ



### 3 診察・小児リハビリテーション

#### (1) 診療所

こども未来センター診療所は、センター内における医療的な側面からの支援を行うのが主な業務です。診療所の特徴は、単に診療だけを行うのではなく、本人の日常生活の充実や向上につなげていくことを主眼とした取り組みを行っているところにあります。

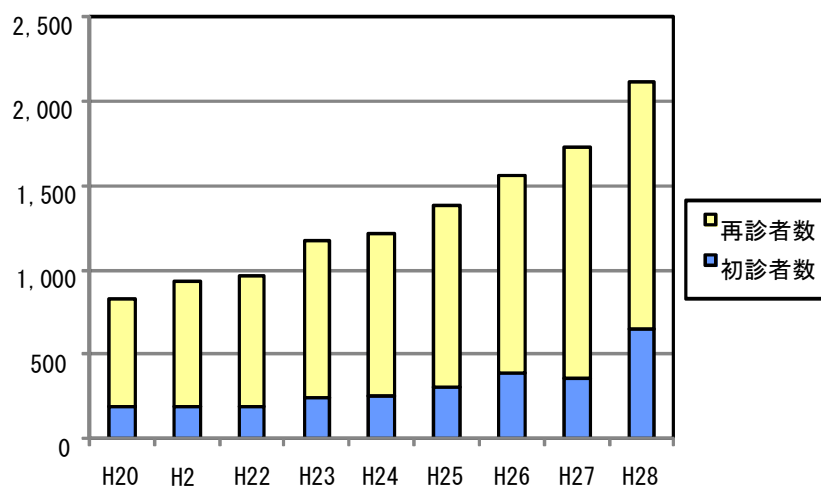
診療所内で、さまざまな小児リハビリテーション（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理療法）を行うだけでなく、センター内の関係部門や学校・幼稚園・保育所等と連携した、各種の支援などにも力を入れ、センターの基本理念である「こども自身の自分らしい豊かな人生を実現する」ことに向けた総合的な支援を目指しています。

取り組み内容	概要	利用実績(前年度)
診察 (小児科・整形外科・児童精神科)	18歳未満の身体・知的・発達に関する診療を行います。	利用者数 2,115人 (1,726人) 延利用件数 4,977件 (3,741件)
小児リハビリテーション (理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心理療法)	医師の処方に基づき、各種の小児リハビリテーションを実施します。	
わかば園園児の健康管理・療育支援	わかば園(通園療育部門)園児の健康管理のほか、療育支援を行います。	
各種の技術指導等 (障害児等療育支援事業)	必要に応じて、利用者や学校園等に対する技術指導などを行います。	
関係医療機関との連携	必要に応じて、地域や専門の医療機関の紹介や情報共有を行います。	

#### ① 診察実績

(単位:人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
外来診療者数	833	936	968	1,174	1,215	1,382	1,558	1,726	2,115
外来初診者数	193	195	188	241	257	310	390	359	650
外来再診者数	640	741	780	933	958	1,072	1,168	1,367	1,465



## ②初診者数の状況

(単位:人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
療育初診数	193	195	188	241	257	310	390	359	650
運動発達障害(①+②)	56	64	71	62	64	80	107	88	88
①脳性麻痺	5	14	13	11	11	13	15	16	3
うち低体重出生(内数)	(4)	(5)	(4)	(9)	(7)	(5)	(7)	(6)	(3)
②その他の運動障害	51	50	58	51	53	67	92	72	85
うち低体重出生(内数)	(15)	(14)	(31)	(16)	(16)	(31)	(28)	(8)	(6)
精神発達障害(③+④+⑤)	119	120	107	163	171	200	238	220	452
③知的障害	21	16	14	16	12	41	37	28	68
④自閉性障害	81	81	80	138	148	157	190	179	329
⑤LD/ADHD等	17	23	13	9	11	2	11	13	55
言語性発達遅滞							39	47	75
その他	18	11	10	16	22	30	6	4	35

### <年齢別内訳>

(単位:人)

	H24	H25	H26	H27	H28
0歳代	15	34	37	37	39
1歳代	41	42	61	43	52
2歳代	45	47	50	45	91
3歳代	52	55	81	65	104
4歳代	28	29	46	26	76
5歳代	24	29	28	36	45
6歳代	12	16	19	20	40
7歳代	13	15	11	10	39
8歳代	9	12	15	21	33
9歳代	7	13	11	24	38
10歳代	2	8	9	12	28
11歳代	4	3	8	4	17
12歳代	3	3	4	3	14
13歳代	2	1	7	5	16
14歳代	0	3	3	3	11
15歳代	0	0	0	5	4
16歳代	0	0	0	0	2
17歳代	0	0	0	0	1
18歳代	0	0	0	0	0
計	257	310	390	359	650

### <紹介元内訳>

(単位:人)

紹介元	H24	H25	H26	H27	H28
保健福祉センター (地域保健)	92	91	123	98	159
医療機関(病院・開業医)	59	74	99	81	105
紹介以外(利用者 関係・直接)	39	60	80	63	138
療育機関 (転入ケース含む)	18	27	13	28	39
小学校・中学校	11	16	24	34	75
幼稚園・保育所	14	14	21	22	52
子ども家庭センター	4	5	8	10	9
市役所	2	5	3	9	38
子育て総合センター	3	3	5	6	15
総合教育センター	4	2	6	3	14
その他	11	13	8	5	6
計	257	310	390	359	650

③リハビリ（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）利用者数推移

(単位:人)

	H24			H25			H26			H27			H28		
	PT	OT	ST	PT	OT	ST	PT	OT	ST	PT	OT	ST	PT	OT	ST
脳性麻痺	106	54	20	104	47	23	106	47	34	112	60	35	115	70	45
中枢神経疾患後遺症	16	9	2	17	4	8	14	1	3	15	4	5	16	5	5
先天性脳形成不全	2	0	0	2	1	0	1	1	0	6	4	5	7	5	7
難治性てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4	3	6	3	3
染色体遺伝子疾患	39	26	22	47	32	42	55	29	48	68	41	60	63	42	68
神経筋疾患	7	3	2	6	3	1	7	6	4	7	6	4	9	6	5
筋・骨格・運動器疾患	10	1	0	8	1	2	9	4	4	10	5	1	10	7	1
精神運動発達遅滞	20	13	24	23	13	23	29	15	27	22	29	18	19	36	22
運動発達遅滞	46	5	1	56	7	1	77	7	8	86	6	7	117	10	20
その他の運動障害	12	2	24	12	0	0	13	0	0	6	3	1	3	2	1
協調運動障害	3	6	2	3	7	1	5	11	2	8	13	4	7	23	4
自閉症スペクトラム障害(ASD)	1	106	240	1	152	360	2	230	417	5	265	481	11	433	626
学習障害(LD)	0	1	1	0	5	1	0	3	1	0	2	44	1	15	62
注意欠陥・多動性障害(ADHD)	0	4	20	0	7	3	0	9	8	0	7	6	0	16	12
知的障害	0	40	69	0	42	49	0	46	65	3	30	57	2	57	97
その他	0	0	0	0	5	36	0	3	51	3	0	38	5	13	76
合計	262	270	427	279	326	550	318	412	672	356	479	769	391	743	1054

**(2) 理学療法 (PT : Physical Therapy)**

理学療法とは病気、けが、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に、主に運動などの手段を用いて行われる治療法です。理学療法の直接的な目的は運動機能の改善で、日常生活活動(ADL)の改善を図り、最終的には生活の質(QOL)の向上を目指すものです。

区分	対象	概要	利用実績(前年度)
理学療法	何らかの原因で運動発達が遅れや運動機能に困難さがある乳幼児から18歳までの児童	子供の持っている潜在能力や発達の力を育て、様々な日常生活の活動性や自立度の向上に取り組み、子供(とその家族)が住んでいる地域の中で現在や将来にわたり、少しでも心身ともに健やかに、豊かな生活が送れるように支援します。	利用者数 391人 (356人) 延利用件数 6,620件 (6,088件)

**< P T 外来実人数 (平成28年度) >**

(単位:人)

年齢 診断名	0 1 2 3 4 5 6						7 8 9 10 11 12						13 14 15			16 17 18			合計
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
脳性麻痺	4	8	9	7	9	6	6	7	6	8	8	3	7	5	6	8	5	3	115
中枢神経疾患後遺症	1		2	1	1	2	2	1		1		1	1	2			1		16
先天性脳形成不全			4			1 1				1									7
難治性てんかん				2	1	1			1				1						6
染色体遺伝子疾患	2	2	9	9	13	3 8	5	2	1		1 2		1 1		2	2		63	
神経筋疾患				1	1	2	2	1	2										9
筋・骨格・運動器疾患	2		1	1	1		1		1	1	1	1						10	
精神運動発達遅滞	2	4	3	2		2	1	2	1	1		1						19	
運動発達遅滞	5	35	47	15	4	5 3	1	1								1		117	
その他の運動障害			1			1		1										3	
協調運動障害					1	2		1		2		1						7	
自閉症スペクトラム障害(ASD)			3	1					1	3	2			1				11	
学習障害(LD)									1									1	
注意欠陥・多動性障害(ADHD)																		0	
知的障害					1	1												2	
その他	1	2	1		1													5	
合計	7	47	75	46	31	26 26	18	16	14	17	12 6	12	8	8	10	9	3	391	

### (3) 作業療法 (OT : Occupational Therapy)

作業療法は、発達時期に障害を受けた子供達に対して、遊びを中心とした色々な作業活動を利用して、個々の子供の発達課題（運動機能、日常生活技能、学習基礎能力、心理社会的発達など）や現在、将来にわたる生活を考慮した治療を行います。また、たとえ障害があっても家庭や学校、社会で生き生きと生活ができるように指導、援助を行います。

区分	対象	概要	利用実績(前年度)
作業療法	何らかの原因で運動機能・感覚機能・認知機能に困難さがあり、育てにくさや個々の技能の獲得のしにくさ、幼稚園・学校などへの不適応が生じている0歳から18歳までの児童	<p>家庭生活や学校生活で、生き生きとその人らしい生活ができるように、子供とご家族に以下の目的の支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆粗大運動機能の発達を促す (座位・立位・移動動作など)</li> <li>◆巧緻運動機能の発達を促す (つかむ・つまむ・はなす・両手動作・目と手の協調)</li> <li>◆日常生活活動能力の発達を促す (食事・更衣・排泄・入浴・学習などの技能)</li> <li>◆学習基礎能力の発達を促す (方向・形・数・色・大きさなどの概念発達)</li> <li>◆心理社会性の発達を促す (小集団の運動遊び・ゲーム等を通し対人面・自己統制能力・役割遂行など)</li> </ul>	<p>利用者数 743人 (479人)</p> <p>延利用件数 5,212件 (3,921件)</p>
集団作業療法	小学生 中学生	<p>運動遊び、机上作業を中心とした様々なグループ活動を通じて、友達と協力して活動するために、ルールの理解、動きのコントロール、友達の気持ちを考える、自分の思いをうまく表現する、などを学び、友達とのふれあいを楽しみ、共同作業に自信が持てるようにしていきます。</p> <p>保護者には、集団内の子供の様子を見ていただき、子供の発達についての理解を深め、今回、子供が学んだスキル・経験を家庭、学校生活に活かせるように、具体的な関わり方や対応を保護者の方と一緒に考えていきます。</p>	<p>4グループ(3)グループ (低学年・高学年・女子・中学生) 計23人(14人) 延34回(28回)</p>

### <OT外来実人数(平成28年度)>

(単位:人)

診断名	年齢																		合計	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18
	小						中						高							
脳性麻痺		1	5	6	7	5	4	7	6	7	5	7		5	2		1	1	1	70
中枢神経疾患後遺症				2	1		2													5
先天性脳形成不全							2				2					1				5
難治性てんかん				1			1	1												3
染色体遺伝子疾患			3	4	10		8	6	4	2	2	2	1							42
神経筋疾患						2		2	1	1										6
筋・骨格・運動器疾患					1	1	1		2		1	1								7
精神運動発達遅滞			1	5	5	2	3	7	5	2	3	1	1				1			36
運動発達遅滞			3		1	3	3													10
その他の運動障害					1				1											2
協調運動障害			1		2	3	6		1	4	1	1	1	2	1					23
自閉症スペクトラム障害(ASD)		1	4	11	30	43	57	51	52	47	43	40	24	16	7	7				433
学習障害(LD)					1				1		8	4			1					15
注意欠陥・多動性障害(ADHD)						3	2	3		2	2	3				1				16
知的障害			1	2	9	8	7	7	8	5	3		5	1	1					57
その他					3	6	1	3												13
合計	0	2	18	31	71	76	97	87	81	70	70	59	32	24	12	9	2	1	1	743



#### (4) 言語聴覚療法 (ST : Speech-Language-Hearing Therapy)

言語聴覚療法とは、発声発語機能、言語機能、聴覚機能、高次脳機能、摂食・嚥下機能、コミュニケーション機能に障害のある人などに対して、言語聴覚士が検査、訓練および助言、指導その他の援助などの専門的関わりによって、対象者の機能の獲得や維持・向上を図り、生活の質の向上を支援します。

区分	対象	概要	利用実績(前年度)
言語聴覚療法	音声や言語、嚥下・摂食等に遅れや問題のある乳幼児から18歳までの児童	<p>子供の発達段階に応じて、遊びを取り入れながら個々の目標とする課題を訓練として行い、保護者にもその目的を説明し、家庭での具体的な関わりにつながるよう指導します。また、園内の他職種との連携だけでなく、必要に応じ保護者の承諾を得て子供が所属する関係機関の先生方とも連携をとりながら訓練を進めます。</p> <p>◆音声や発音の問題に対して、発達段階や理解の度合いに応じて、正しい発音を獲得するための指導を行います。</p> <p>◆コミュニケーションの問題に対して、発達段階や理解の度合いに応じて、運動やいろいろな感覚を通して、子供の理解を助けることばかけの仕方やことばを引き出すための関わり方について訓練を行い、保護者にも家庭での具体的な対応方法について指導、援助を行います。</p> <p>◆嚥下や摂食の問題に対して、発達段階や理解の度合いに応じて個々の問題の解決や軽減に繋がる安全で適切な訓練を行います。保護者に対しても適切な食形態や食事介助の仕方を指導します。</p>	<p>利用者数 1,054人 (769人)</p> <p>延利用件数 7,109件 (6,141件)</p>
		<p>友達と関わっていく上で必要なことばの理解や正しいことばの使い方の学習を促します。特に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供同士のやりとりを活発に行う</li> <li>・子供同士で協力する</li> <li>・相手の話に耳を傾ける</li> <li>・状況を理解して協力する</li> </ul> <p>などを目的とし、幼稚園・保育所とも連携をとります。また、報告書を作成し、学校生活にスムーズに引き継ぎます。</p>	<p>3グループ(4グループ) 計18人(30人) 延36回(48回)</p>
集団言語聴覚療法	年中児 年長児		
	学齡児	<p>小集団の中で友達との関わり方や、学校生活に必要なコミュニケーションスキルを学習し、友達とのやりとりの経験を積み、自信をつけ学校生活につなげます。また、保護者にも支援方法を伝え、報告書を作成し、担任教師との連携に役立てていただきます。</p>	<p>[低学年] 3グループ(4グループ) 計18人(28人) 延36回(48回)</p> <p>[高学年] 1グループ(1グループ) 計6名(6名) 延11回(12回)</p>

<ST外来実人数（平成28年度）>

（単位：人）

診断名	年齢						小						中			高			合計				
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		18			
脳性麻痺		1	6	4	4	3	3	5	3	4	6	4				2							45
中枢神経疾患後遺症					1	1	2	1															5
先天性脳形成不全			2	1		2	1				1												7
難治性てんかん				1	1				1														3
染色体遺伝子疾患		1	8	7	17	5	12	6	4	2	4	1	1										68
神経筋疾患						1		1	2	1													5
筋・骨格・運動器疾患								1															1
精神運動発達遅滞			7	3	2	2	3	2	3														22
運動発達遅滞		1	10	4	3	2																	20
その他の運動障害								1															1
協調運動障害						2						2											4
自閉症スペクトラム障害(ASD)			16	51	83	93	102	94	63	51	27	18	15	6	3	3	1						626
学習障害(LD)			3	8	13	21	6	4	1	3		2	1										62
注意欠陥・多動性障害(ADHD)			2	1			2	3	2	1		1											12
知的障害			1	22	19	11	14	10	5	4	5	2	2	1			1		1				97
その他		2	7	11	13	8	9	10	5	4	4	2	1										76
合計	0	5	62	113	156	151	154	138	89	70	47	32	20	7	3	5	2	0	0				1,054

(5) 心理療法

心理士が、利用者の多種多様な価値観を尊重しつつ、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、問題解決のサポートを行います。

取り組み内容	概要	利用実績(前年度)
心理療法・ カウンセリング	<p>子供を対象として、心理療法の1つである「遊戯療法」を行います。遊戯療法では、心理士が子供と友好的な関係を結び、ありのままに受け入れます。そして、子供のもつ潜在的な力を尊重し、自らが成長するお手伝いをします。</p> <p>◆自己治癒の機能： 遊びは内面を表出するものであり、自由に生き生きとエネルギーを発散すること、つまり、遊びを通じて自らの成長する力を促進することができる。</p> <p>◆コミュニケーションの媒体： 大人が言葉を交わしてコミュニケーションをとるように、子供は遊びを介してコミュニケーションをとります。そして、子供の心の深層にまで関わるすることができます。</p>	<p>利用者数 36人 (26人)</p> <p>延べ利用件数 214件 (145件)</p>
保護者支援	<p>子供の発達に関して悩みを抱えている保護者に個別の相談を受け、保護者の心的負担を軽減するお手伝いをします。</p>	
発達検査	<p>子供の発達状況や発達のバランスを客観的に知るために必要に応じて行います。診断の際に利用したり、今後の療育方針を立てる上でも役立てていきます。</p>	<p>利用者数 924人 (676人)</p> <p>延べ利用件数 943件 (676件)</p>

<心理療法実績>

（単位：件）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
発達検査(件)	349	496	442	560	569	589	634	676	943
心理療法(件)	210	119	77	69	276	321	345	145	214

## (6) 障害児等療育支援事業

外来での親子療育教室（わくわくクラブ、ありんこぐみ、つぼみぐみ、個別保育、体験保育、集団 ST（保育部分））、心理療法・カウンセリング、福祉用具の相談・製作などの PT 相談、OT 相談・ST 相談、栄養相談、健康相談などを行います。

(単位:件)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
外来療育全体	1,850	1,973	2,481	2,592	2,472	2,166	2,308	2,285	1,791
保育	1,458	1,671	2,221	2,352	2,020	1,642	1,803	2,024	1,453
集団保育	1,319	1,514	2,052	2,198	1,832	1,449	1,610	1,904	1,335
個別保育	139	157	169	154	188	193	193	120	118
各種療育等	210	119	77	69	276	321	346	145	214
心理療法	210	119	77	69	276	321	346	145	214
補装具・福祉用具	182	183	183	171	176	203	159	116	124

\* 「補装具・福祉用具」とは、福祉用具（車いす、座位保持装置、装具など）を作製する際に理学療法士が子供の特性等を配慮して製作支援、相談に応じることを言います。

### <一時預かり事業>

診療・療育等を利用する利用者の利便性向上を図り、訓練等に集中しやすい環境を整えることを目的に診療・療育の対象児童の就学前の兄弟姉妹の一時預かりを業務委託により行っています。

- 【対象】 生後 8 か月以上の就学前児童  
 【費用】 1 時間 300 円  
 【委託先】 社会福祉法人 桜谷福祉会

	H27	H28
新規登録者数	200 人	181 人
利用実績(キャンセルは含まない)	1,090 回	2,067 回
60 分(1 枠)	1,038 回	1,883 回
120 分(2 枠)	52 回	184 回
(参考)キャンセル数	195 件	453 件

➡ 「西宮市立こども未来センター一時預り事業実施要綱」参照

## 4 通所支援

就学前の肢体不自由児、知的・発達障害児に対して、保育士による療育を行っています。子供の日常生活を大切に、子供と保護者を支えること、親子で遊ぶことが楽しいと思えるような豊かな親子関係を大切にしています。

取り組み内容	対象	内容	利用実績(前年度)
通園療育 「わかば園」	2歳児(4月1日で満1歳の子供)から就学前の肢体不自由児、知的・発達障害児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を大切に、一人一人に応じた安定した身体づくりをしていきます。</li> <li>・安心して遊べる環境をつくり、さまざまな遊びの提供をしていき、親子で楽しく遊ぶ中で、豊かな親子関係を築いていきます。</li> <li>・一人一人の持っている力を生活や遊びの具体的な場で発揮出来るよう援助していき、毎日の生活がより広がり、充実したものになるよう、いろいろな経験を積み重ねていきます。</li> </ul>	在籍者数 38人 (38人)  延保育回数 3,682回 (3,798回)

### (1) 通園療育(児童発達支援センター「わかば園」)

#### ア わかば園の概要

2歳児(4月1日で満1歳の子供)から就学前の肢体不自由児、知的・発達障害児に対して、年齢や個々の状態に合わせた集団保育、食事指導、各種相談(育児相談、栄養相談、補装具、進路相談など)その他、近隣の保育所児との交流保育、季節ごとの行事なども行います。

日々の保育場面にこども未来センター診療所のセラピストが定期的に参加し、快適な環境設定やご家族の情報などを、随時、各部門が情報を共有することで、支援の充実に向けた連携を図っています。

わかば園では、保護者の方に具体的な療育・育児方法を身につけていただくため、親子一緒に参加していただくこととしています(親子通園)。

#### <親子通園のキーワード>

たのしむ	親子で一緒に遊んで、楽しさを共感しましょう
つながる	いろいろな人と出会って、つながりを豊かにしていきましょう
まなぶ	他の親子や先輩からも、たくさん学びましょう
きづく	子供の姿や移り変わりから、うれしい気づきをみつけましょう

#### イ わかば園のクラス編成と保育の流れ(平成29年度)

障害種別	通園対象		組	保育日数 (予定)	通園日				
	年齢	在籍人数			月	火	水	木	金
肢体不自由	2歳	8	ゆき	76			○		
	3歳	9	つき	92		○		○	
	4・5歳	4	ほし	132	○	○		○	
知的・発達	2歳	9	うさぎ	173	○		○	○	○
	3・4歳	5	ぞう	176	○	○	○		○
計		35							

時間	活動
9:40	順次タクシー登園、診察、検温
	出席ノート、身辺整理
10:00	集まり、名前呼び、歌、ふれあい遊び
	検温、出席ノート、身辺整理
	各クラスに応じた保育
	季節の遊び、製作
	身体を使った遊び、感触遊び
11:50	給食
12:35	ゆったり保育(保護者が食事をする間の分離保育)
13:00	個々に応じた活動
13:40	おかえり
14:00	タクシー降園

※保育は1限 50分、一日3限で実施しています。

1 限目 (10:00 ~10:50)

2 限目 (11:00 ~11:50)

3 限目 (13:00 ~13:50)

※毎週木曜日 年長、年中クラスで音楽療法(どれみクラブ)を実施。

## ウ 年間行事・給食・保護者支援

### ①年間行事

月	行事
4月	療育説明会・一学期開始・クラス懇談会
5月	クラス進路勉強会(クラス毎)
6月	歯科検診・療育公開日
7月	養護学校見学(4歳児親子)・救急法講習 プール開き・夏祭り・家族参加デー
8月	家族参加デー・一学期終了・夏休み
9月	二学期開始・遠足(肢体)
10月	わかばっこ広場・園外保育(発達)
11月	
12月	クリスマス会・二学期終了・冬休み
1月	三学期開始
2月	
3月	卒園式

※誕生会はクラス毎に実施

※その他開催予定

・福祉機器展

・公立保育所交流 など

## ②給食

わかば園の給食は公立保育所の献立に基づいて実施するとともに、衛生管理を徹底し、安全な給食提供が出来るよう努めています。

また、園児の摂食機能に応じた食事形態（普通食、刻み食、ミキサー食）やアレルギー食、ケトン食、注入食などの特別食にも対応した給食提供を行います。必要に応じて、栄養指導を行います。

➡「西宮市立こども未来センター食費徴収要綱」参照

ごはん		おかず		特別食	
普通	24	普通	21	アレルギー食 (牛乳)	1
軟飯	5	ミキサー (ムース食)	10	アレルギー食 (卵)	0
お粥	4	刻み食	3	アレルギーミキサー食 (卵)	0
ミキサー粥	1			経管栄養	3
計	34	計	34	計	4

## ③保護者支援

### 【クラス懇談】

保護者一人一人のニーズや評価会議で検討した援助内容をもとに懇談を行います。学期に一回の懇談に加え、必要に応じて随時懇談を行います。

### 【保護者研修】

公立の幼稚園・養護学校・北山学園などの見学、卒退園児の保護者による子育てや進路についての経験談を聞く機会を設けています。

### 【家族参観】

保護者及び家族に日頃の療育内容について知ってもらい、理解を深めてもらいます。

## エ 通園方法

わかば園への通園方法は、原則として利用者1～3組を1グループとして、各家庭と園をタクシーで送迎します（グループの組み合わせは園が指定）。

➡「西宮市立こども未来センター通園タクシー利用要綱」参照

### 【分離保育プログラム】

子供たちの自立・自律に向けて、就学1年前の利用児（5歳児）を対象に、分離保育で療育を実施しています。

➡「西宮市立こども未来センター分離保育プログラム実施要綱」参照

### 【並行通園プログラム】

子供が地域の保育所や幼稚園を利用しながら、わかば園通園療育を受ける並行通園プログラムを実施しています。

➡「西宮市立こども未来センター並行通園プログラム実施要綱」参照

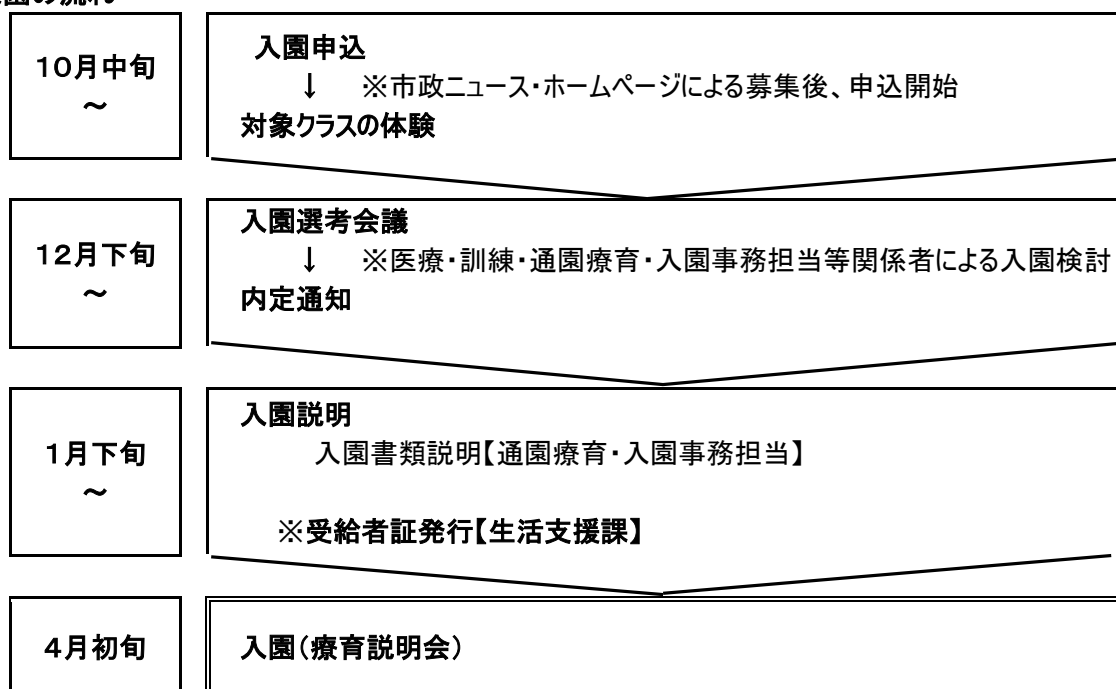
**【介助通園制度】**

園児の保護者が病気、出産などのために親子通園が困難な場合、センター職員が介助を行うことにより、療育を継続することのできる制度があります。

場合	期間
保護者が病気、家族の介護のため2週間以上通園が困難になった場合	上限3か月
保護者が妊娠のため通園が困難となった場合	産前8週間、産後12週間 多胎の場合 産前14週間 32週未満の早産の場合は、予定日から12週まで

- ➡ 「西宮市立こども未来センター介助通園制度実施要綱」参照
- ➡ 「西宮市立こども未来センター介助通園タクシー利用実施要綱」参照

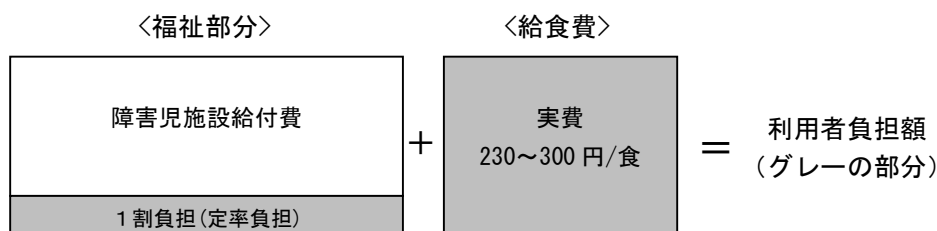
**オ 入園の流れ**



## カ 利用料・利用者負担

### ①利用料のしくみ

利用者負担額は、福祉部分の各定率負担分と給食費（実費）の合計。



- \* 1日の福祉部分の利用料は、タクシー通園制度により配車したタクシーに乗車した時点で支払い義務が発生し、各自で登園（自力登園）される方については、登園した時点で支払い義務が発生する。
- \* 食費は、当日午前9時20分までに連絡がなければ、キャンセル料（実費分）を徴収する。
- \* 障害児施設給付費は、保護者に代わり代理請求、代理受領する。

(月額)	通園使用料	給食費(1食)	所得区分の認定方法
生活保護	0円	230円	生活保護受給世帯
低所得	0円	230円	市町村民税非課税世帯に属する者である場合
所得1	4,600円	250円	市町村民税課税世帯に属する者であって、課税世帯員の所得割合計額が28万円未満の場合
所得2	37,200円	300円	市町村民税課税世帯に属する者であって、課税世帯員の所得割合計額が28万円以上の場合

### ②利用者負担額の支払方法

利用者負担額は、1ヶ月ごとに翌月20日までに、現金徴収する。

### ③利用者負担の軽減措置等

- ・「通園療育」の月毎の利用者負担の額（福祉部分）は、児童福祉法により上限が定められている。
- ・「通園療育」の利用状況により、当施設への月々の利用者負担は変わる。
- ・福祉部分には多子軽減措置があり、幼稚園・保育所又は障害児通所支援を利用する就学前の児童が同一世帯に2人以上いる場合に、第2子以降の利用者負担額の軽減を行う制度。（利用者負担額 第2子：半額 第3子以降：0円）
- ・福祉部分の実費負担に対し、毎月利用者負担額から9,600円を控除した額を補助する制度がある。
- ・児童デイ等を利用した場合、福祉部分について、利用者負担上限額管理が適用される場合があり、利用する場合は、要連絡。
- ・世帯内で介護・福祉サービスを複数受けている場合、高額障害児施設給付費の制度がある。

### ④サービスの利用に関する留意事項

#### <受給者証>

- ・入園時には必ず受給者証「障害児施設受給者証」を提示し、記載事項等に変更があった場合は要連絡。

#### <児童発達支援提供実績記録票>

- ・利用者は、当日提供された通園内容を記載した『児童発達支援提供実績記録票』の内容を確認、捺印する。



**<わかば園の事業実績>**

**①通園児の在籍者数**

(単位:人)

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
通園在籍者数(人)		34	28	28	35	36	31	32	38	38
	保育回数(延べ)	3,105	2,206	2,059	2,983	3,589	3,126	3,603	3,798	3,682
	保育のみ	2,924	2,063	1,903	2,742	3,299	2,903	3,399	3,569	3,541
	保育・音楽療法	181	143	156	241	290	223	204	229	141

**②通園児の疾患別表**

(単位:人)

疾患区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
脳性まひ	17	15	13	10	14	7	8	10	11
中枢神経疾患後遺症	2	1	1	2	1	1	2	2	0
精神運動発達遅滞	3	5	7	8	7	5	4	5	3
染色体・遺伝子異常	7	2	2	6	6	8	10	11	10
多奇形症候群	1	2	1	1	0	0	0	0	0
難治性てんかん	3	1	1	1	2	0	1	2	4
末梢神経・筋疾患	0	1	3	2	2	2	1	0	1
二分脊椎	0	0	0	1	1	1	0	0	0
その他(自閉症スペクトラム等)	1	1	0	4	3	7	6	8	9
合計	34	28	28	35	36	31	32	38	38

**③通園児の移動能力別**

(単位:人)

移動能力別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
移動不可	8	6	13	9	6	7	8
寝返り	7	7	6	3	6	5	3
這う	7	7	7	2	2	6	3
つたい歩き	1	4	1			1	1
器具による歩行	1	3	2	5	3	2	4
独歩	4	8	7	12	15	17	19
合計	28	35	36	31	32	38	38

**④通園児の言語能力別**

(単位:人)

言語能力別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
発声なし	0	3	6	3	0	0	2
発声のみ	17	15	18	9	12	15	7
喃語	4	8	7	7	4	7	12
単語	4	2	4	7	6	5	5
二語文	3	5	0	3	1	6	5
会話	0	2	1	2	5	5	7
合計	28	35	36	31	28	38	38

⑤通園児の日常生活能力別

(単位:人)

	H24				H25				H26				H27				H28								
	0歳 ~	2歳 ~	4歳 ~	6歳	0歳 ~	2歳 ~	4歳 ~	6歳	0歳 ~	2歳 ~	4歳 ~	6歳	0歳 ~	2歳 ~	4歳 ~	6歳	0歳 ~	2歳 ~	4歳 ~	6歳					
食事	36	0	17	10	9	31	0	14	11	6	32	0	15	15	2	38	0	23	11	4	38	0	16	16	6
全介助	27		11	9	7	15		5	6	4	13		3	8	2	18		10	5	3	13	0	6	3	4
一部介助	8		5	1	2	14		8	4	2	19		12	7		17		11	5	1	22	0	9	11	2
自立	1		1			2		1	1		0					3		2	1		3	0	1	2	0
着脱衣	36	0	17	10	9	31	0	14	11	6	32	0	15	15	2	38	0	23	11	4	38	0	16	16	6
全介助	32		14	10	8	21		7	8	6	22		8	12	2	26		16	6	4	13	0	7	3	3
一部介助	4		3		1	9		6	3		10		7	3		11		6	5		25	0	9	13	3
自立	0					1		1			0					1		1			0	0	0	0	0
排泄	36	0	17	10	9	31	0	14	11	6	32	0	15	15	2	38	0	23	11	4	38	0	16	16	6
全介助予 告無	35		16	10	9	26		10	10	6	25		11	12	2	22		13	6	3	22	0	8	8	6
全介助予 告有	0					0					4		1	3		1				1	1	0	1	0	0
一部介助	0					0					1		1			13		8	5		15	0	7	8	0
自立	1		1			5		4	1		2		2			2		2			0	0	0	0	0

⑥卒退園児の就園・就学先

(単位:人)

進路	H24		H25		H26		H27		H28	
特別支援学校	西宮養護	8	西宮養護	5	西宮養護	2	西宮養護	4	西宮養護	6
その他の施設等	北山学園	3	北山学園	4	北山学園	4	北山学園	2	北山学園	4
普通校	深津小	1	名塩小	1						
			用海小	1						
公立保育所	鳴尾北保	1	今津南保	1			浜甲子園保	1	今津文協保	1
	甲東北保	2	今津文協保	1						
私立保育所										
公立幼稚園			夙川幼	1			用海幼	1	夙川幼	1
			門戸幼	1					あおぞら幼	1
									小松幼	1
私立幼稚園	甲東幼	1	こばと幼	1	すずらん幼	1	阪急幼	1	阪急幼	1
	こばと幼	1	公同幼	1	こばと幼	1	こばと幼	2	こばと幼	2
					海星マリア幼	1	武庫川幼	1	甲東幼	1
					北六甲幼	1	夙川短大幼	1	二葉幼	4
					甲武幼	1			聖和幼	2
					星陵台めぐみ 幼	1			光明幼	1
					西南幼	1			こひつじ幼	1
児童発達支援事業所							西宮たんぼぼ	1		
							カチーナ	1		
転居					2				1	
計		17		19		13		16		26

## 5 発達支援

取り組み内容	対象	内容	利用実績(前年度)
親子療育教室 (外来保育)	通園療育を行っていない0～3歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診察後に親子で遊びながら子供の発達を促し、保護者にとっては子供の関わり方を具体的に学びながら子育てを支援していくことを目的としています。</li> <li>・親子で楽しくいろいろな遊びをしながら、コミュニケーションを深めていきます。</li> <li>・子育て相談や情報提供などを行うなど、同じ年頃の子供を持つお母さん同士の交流の場としています。</li> </ul>	在籍人数計 647人 (764人) 保育日数計 205日 (210日) 延出席日数計 1,144日 (1,412日) ※親子療育教室の実績を合計
個別保育	満8ヶ月に満たない子供や、集団保育が困難な子供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象の子供に対して、個別保育を提供しています。</li> <li>・保護者の不安をやわらげ、集団保育に繋がります。</li> </ul>	計 22回 (48回)
体験保育	通園や親子療育教室に入る予定の子供	・通園療育や親子療育教室に入るにあたり、該当クラスの様子や生活の流れを知ってもらい、利用児にとっての必要性を確認してもらうことを目的に実施します。	計 96回 (72回)
ほっこり広場	療育待機中の子供	・こども未来センターの相談を受けられた後、療育につながるまでの間の待機期間に、発達の遅れを疑う子供と支援が必要な保護者を対象に行う保育です。	平成29年度からの新規事業
保育所等訪問 支援事業	保育所、幼稚園、小学校などに在籍している障害のある児童	・スタッフが保育所・幼稚園・学校等に訪問し、子供が園や学校での生活を楽しく送れるように、個々の特性に配慮し、集団生活における工夫やアドバイスを先生や保護者に行います。	計 16件 (16件)

### (1) 親子療育教室(外来保育)

通園療育を行っていない0～3歳児を対象に親子教室(集団保育)を実施しています。

診察後に親子で遊びながら子供の発達を促し、保護者にとっては子供の関わり方を具体的に学びながら子育てを支援していくことを目的としています。

また、満8ヶ月に満たない子供や、集団保育が困難な子供には個別保育を実施しています。

(本事業は「在宅支援外来療育等指導事業」として実施)。

※利用者負担 いずれも1クール150円

※親子療育教室のクラス編成は、年度により変更になる場合があります。

平成29年度 クラス編成					平成28年度実績		
クラス名	対象年齢	時間	回数	1クール回数	在籍人数	保育日数	延べ出席数
わくわく	2・3歳児	9:20～10:20	週1回	15回	207	102	513
ありんこ	0・1歳児	10:30～11:10	月2回	—	353	70	482
つぼみ	2歳児～	—	—	—	87	33	149
計					647	205	1,144

## ア わくわく（2～3歳児の保護者参加によるグループ保育）

【目的】 親子で楽しく遊ぶことにより、コミュニケーションを深めながら色々な遊びを経験します。また、子育て相談や情報提供を行なうなど、同じ年頃の子供を持つお母さん同士の交流の場としています。

【回数】 週1回 9時20分～10時20分 1クール15回（概ね3ヶ月間）

【対象】 2・3歳児

### ＜わくわく参加状況＞

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	在籍人数	30	35	40	41	40	40	49	31	26	28	32	31	423
	保育日数	5	11	11	9	8	9	9	12	6	9	11	12	112
	延べ出席数	53	84	94	84	70	93	72	71	40	64	71	70	866
平成25年度	在籍人数	25	20	25	25	16	16	21	21	13	12	16	10	220
	保育日数	15	11	15	15	6	13	14	14	7	7	9	8	134
	延べ出席数	72	75	75	65	24	60	42	58	34	36	41	26	608
平成26年度	在籍人数	9	9	15	11	6	12	19	13	20	14	19	15	162
	保育日数	7	8	9	6	3	8	9	7	8	5	11	7	88
	延べ出席数	23	30	29	24	14	40	44	40	45	30	60	46	425
平成27年度	在籍人数	28	21	21	27	21	13	19	12	19	14	20	13	228
	保育日数	8	8	9	10	3	6	9	7	7	8	8	8	91
	延べ出席数	69	71	78	76	18	30	52	39	36	38	46	43	596
平成28年度	在籍人数	19	18	21	26	15	14	14	19	14	14	20	13	207
	保育日数	11	10	13	12	6	7	6	8	6	8	10	5	102
	延べ出席数	44	49	72	60	34	33	36	40	32	47	48	18	513

## イ ありんこ（0～1歳児の保護者参加による、グループ保育）

【目的】 小さな集団の中で、親子で楽しく遊ぶことにより、母子関係を深め、子供の発達を促します。

【回数】 月2回（隔週） 10時30分～11時10分

【対象】 0・1歳児

### ＜ありんこ参加状況＞

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	在籍人数	17	18	16	19	19	18	23	30	33	38	37	40	308
	保育日数	6	11	11	9	8	9	10	14	8	13	13	10	122
	延べ出席数	21	36	40	45	36	40	50	84	54	78	85	86	655
平成25年度	在籍人数	9	13	17	20	22	24	22	24	27	30	33	34	275
	保育日数	4	6	7	9	8	10	8	11	10	11	13	8	105
	延べ出席数	11	23	46	36	43	60	44	55	48	55	68	58	547
平成26年度	在籍人数	11	17	20	23	23	31	37	49	46	50	56	60	423
	保育日数	3	5	3	8	4	10	12	10	13	12	16	12	108
	延べ出席数	25	53	48	60	31	75	101	75	89	86	141	115	899
平成27年度	在籍人数	21	25	31	33	33	34	37	40	43	49	52	52	450
	保育日数	7	6	8	7	3	3	6	6	5	5	9	6	71
	延べ出席数	44	57	82	67	33	30	68	53	44	46	78	54	656
平成28年度	在籍人数	15	18	13	24	24	26	28	29	35	43	47	51	353
	保育日数	2	4	4	7	4	6	6	7	8	6	8	8	70
	延べ出席数	17	17	24	45	24	41	41	43	42	49	68	71	482

### ウ つぼみ（園児対象児ではあるが体力がなく、コンスタントに登園できない子供のクラス）

【目的】 小さな集団の中で、親子で楽しく遊びます。就学前の子供を持つ親同士の交流の場です。子育て相談に応じます。毎週1回来園することで生活リズムを整えます。（園児に向け、コンスタントに来園し体力をつけ、色々な遊びを経験します。）

【回数】 月3回（予定）

【対象】 肢体不自由児 2歳児～

#### ＜つぼみ参加状況＞

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	在籍人数	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	17
	保育日数	2	1	3	2	3	1	2	3	2	1	4	3	27
	延べ出席数	3	1	3	2	3	1	2	3	2	1	0	0	21
平成25年度	在籍人数	2	6	6	8	7	6	3	7	3	3	6	1	58
	保育日数	2	4	4	3	3	4	2	4	2	3	3	1	35
	延べ出席数	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	31
平成26年度	在籍人数	0	0	3	3	3	3	3	2	2	3	3	4	29
	保育日数	0	0	2	2	3	3	4	3	2	4	3	3	29
	延べ出席数	0	0	4	5	6	5	6	3	2	7	6	5	49
平成27年度	在籍人数	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	5	48
	保育日数	3	3	4	3	1	1	3	2	0	3	3	3	29
	延べ出席数	5	8	14	8	3	4	9	6	0	11	8	12	88
平成28年度	在籍人数	6	6	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	87
	保育日数	2	2	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	33
	延べ出席数	10	10	13	10	11	15	17	15	13	10	13	12	149

### （2）個別保育

ありんこに入るまでの8ヶ月未満の子供について個別保育を提供しています。保護者の不安をやわらげ、集団保育に繋げていきます。

#### ＜個別保育参加状況＞

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度		1	1	2	0	8	3	3	3	1	1	3	1	27
平成25年度		3	3	2	2	5	8	11	4	8	7	4	10	67
平成26年度		9	4	5	1	3	5	3	1	1	2	2	4	40
平成27年度		4	5	6	8	4	1	7	5	4	3	1	0	48
平成28年度		1	1	0	3	4	4	2	2	1	1	1	2	22

### （3）体験保育

通園療育「わかば園」や親子療育教室に入るにあたり、該当クラスの様子や生活の流れを知ってもらい、利用児にとっての必要性を確認してもらうために、体験保育を行っています。

#### ＜体験保育参加状況＞

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度		11	14	9	11	12	11	14	13	11	25	11	19	161
平成25年度		8	17	10	8	2	9	5	10	4	14	28	10	125
平成26年度		5	8	8	3	8	16	12	13	21	31	9	5	139
平成27年度		5	9	8	4	0	6	8	9	6	6	6	5	72
平成28年度		2	3	10	8	5	4	5	20	14	10	14	1	96

#### (4) ほっこり広場（平成29年度からの新規事業）

こども未来センターの相談を受けられた後、初診までの間の待機期間に、発達の遅れを疑う子供と支援が必要な保護者を対象に行う教室です。

親子の様子を見ながら、必要な支援につなげていきます。

【目的】 初診までの待機期間において、保護者の不安を和らげ、集団で手遊びやふれあい遊び、紙芝居など遊びを通して親と子の関わりを深めることにより、子供の発達を促す。

【回数】 月2回 9時45分～11時00分

【対象】 0～2歳児で、保育所、幼稚園、児童発達支援事業所などに通っていない子供

#### (5) 保育所等訪問支援事業

保育所、幼稚園、小学校などに在籍している障害のある児童を対象に、本人に対する支援（集団生活適応のための訓練等）、訪問先施設のスタッフに対する支援（支援方法等の指導等）を行います。（有料。世帯の所得に応じた負担）

＜保育所等訪問支援事業＞			(単位:件)
	H26	H27	H28
保育所等訪問支援	1	16	16

## 6 スクーリングサポート

不登校児童生徒や学校生活で配慮を必要としている児童生徒に対して、きめ細かな支援を行い、学校復帰や学校生活の安定に向けたさまざまな支援を行います。

取り組み内容	内容	利用実績(前年度)
適応指導 (不登校)	<p>適応指導教室 (あすなる学級)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすなる学級(適応指導教室)は、長期欠席をしている不登校の小中学生を対象に、学習等の援助を行いながら、学校への復帰を目標に運営している教室です。</li> <li>・あすなる学級では、単に学習の援助だけでなく、通ってくる子どもたちの力を広く育むために、こども未来センターのさまざまなスタッフが連携して、支援等にあたります。</li> <li>・あすなる学級では、児童・生徒ひとりひとりの状況にあわせ、学校や保護者と相談しながら、支援を行い、学校復帰をめざして学習支援や心理支援を行います。</li> </ul>	児童生徒数 37人 (33)人
	<p>居場所サポーター</p> <p>不登校傾向のある児童生徒に対し、その教室復帰に向けた取り組みをしている市立小中学校に、主として相談室等で学習や心の支援をする居場所サポーターを派遣しています。</p>	小学校 6校(6校) 中学校 3校(1校) 学校派遣回数 延 117回(111回)
学習支援	<p>西宮市在家庭 学習支援システム (あすなる Web クラブ)</p> <p>Web を活用した学習によって、基礎的・基本的な学力を身につけ、学校復帰やあすなる学級への通級を目指すものです。</p>	
学校生活支援	<p>学校生活支援教室 (のびのび教室) (平成 28 年度新規事業)</p> <p>小学校の通常学級に在籍する児童の内、LD・ADHD・高機能自閉症等により、学校生活で配慮を必要としている児童に対して、安定した学校生活や集団活動が行えるよう支援するため当該児童の支援を行うとともに、在籍小学校との連携体制づくりを行うことを目的としています。</p>	<p>&lt;前期&gt; 低学年 28人 高学年 13人  &lt;後期&gt; 低学年 21人 高学年 14人</p>

## (1) 適応指導教室（あすなる学級）

通級児童生徒一人ひとりの集団への適応力を高めることで、当該児童生徒が学校復帰を果たすことを目的としています。そのため、保護者や学校と綿密に連携を図っています。

あすなる学級の通級日は月曜日から木曜日で、人との関わりを深める豊かな体験学習を通して生きる力をはぐくむ諸活動を実施しています。

### 【主な活動内容】

・マイスタディタイム ・教科学習 ・表現活動 ・スポーツタイム

### 【主な体験活動】

・校外学習 ・調理実習 ・農業体験 ・ボランティア活動 ・文化体験活動

	月	火	水	木	金	
9:15～9:25	朝の会					
9:30～9:45	読書タイム					
1 9:45～10:15	マイスタディタイム					
2 10:25～11:10	国語	算数・数学	英語	体験活動	チャレンジデー	
3 11:20～12:05	マイスタディタイム	マイスタディタイム	スポーツタイム			
12:05～12:50	昼食・昼休み・相談タイム					
4 12:50～13:20	表現	スポーツタイム	マイスタディタイム	学習活動		
5 13:30～14:00			交流活動	チャレンジタイム		
14:00～14:15	終わりの会					

### <あすなる学級の児童生徒数>

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
児童生徒数	49	48	44	43	46	41	45	33	37

平成 28 年度内訳	男子	女子	計
小学生	0	1	1
中学 1 年生	3	4	7
中学 2 年生	4	4	8
中学 3 年生	10	11	21
計	17	20	37



## (2) 居場所サポーター

心理的又は情緒的理由により、教室に入れない、あるいは長期間学校に登校できない状態にある児童生徒の教室復帰に向けた取り組みをしている小中学校に対して、主として相談室等で学習や心の支援をするサポーターを派遣することにより、教室復帰を円滑にすることを目的としています。

### 【派遣するサポーター】

教職を目指す、あるいは臨床心理・社会福祉を学ぶ大学生や大学院生、教員免許取得者等にサポーターとして依頼し、派遣しています。

### 【活動時間】

月曜日～金曜日の週1回、午前または午後の3時間程度。  
1校あたり36回までとなります。

## (3) 西宮市在家庭学習支援システム（あすなるWebクラブ）

Webを活用した学習によって、基礎的・基本的な学力を身につけ、学校復帰やあすなる学級への通級を目指すものです。

家庭でパスワードを入力するとシステムに入ることができ、自宅で単元別プリントや、高校入試問題の過去問題の学習をして基礎学力を高めるものです。小学校の教材もあり、個々のレベルに合わせて学習することができます。



あすなるWebクラブ  
マルチプラットフォーム

家庭学習サービス ログインページ

学校コード  
(家庭学習用)

ログインID

パスワード

学校コード・ログインIDを保持する

ログイン

お知らせ

[推奨環境](#) [お問い合わせ先](#) [よくあるご質問](#)

#### (4) 学校生活支援教室（のびのび教室）

【講師】 稲富 眞彦 氏（関西学院大学教育学部教授）他

【対象】 西宮市立小学校通常学級在籍児童

【開催回数】 高学年・低学年 各8回、保護者教室 各1回

【内容】

- ・ライフスキルの習得（ソーシャルスキルやコーピングスキルなど）
- ・感情の整理及び心の安定（フォーカシング）
- ・自己表現の喜び体験と自己肯定感の向上（アートセラピー）

【参加者数】

	のびのび教室			保護者教室		
	低学年	高学年	計	低学年	高学年	計
前期	28	13	41	24	12	36
後期	21	14	35	16	8	24
計	49	27	76	40	20	60

回	タイトル	概略	ねらい
1	はじめまして、こんにちは	・出会いのカード ・メッセージボールパス	相互理解を深め、信頼関係を育む
2	こころもからだもリラックス	・からだで感じる気持ち ・呼吸法とからだほぐし	自分の気持ちに気づき、マネージメントできる
3	好きな色を使おう！	・みんなでぬりえ	色を使った表現をもとにこころのバランスを図る
4	メンバーと仲良くなろう	・どっちが好き？ ・さんれもの冒険	メンバーと協力して、問題解決する力を養う
5	今日のこころの天気は？	・こころの天気 ・大きな木	自分の気持ちに気づき、マネージメントできる
6	いろいろアート	・いろいろな画材を使って ・自由描画	様々なアート素材で表現の幅を広げ、感覚を自由に描くことができる
7	こころすっきり、からだほっこり	・こころの整理箱 ・私の安全なところ	自由画から観察力、発想力、創意工夫する力などを楽しみながら自分で確認できる
8	ありがとう、また会いたいな	・感情パズル ・ハートビーイング	言葉が与える影響を知り、友達と良好な関わりを持つことができるようになる

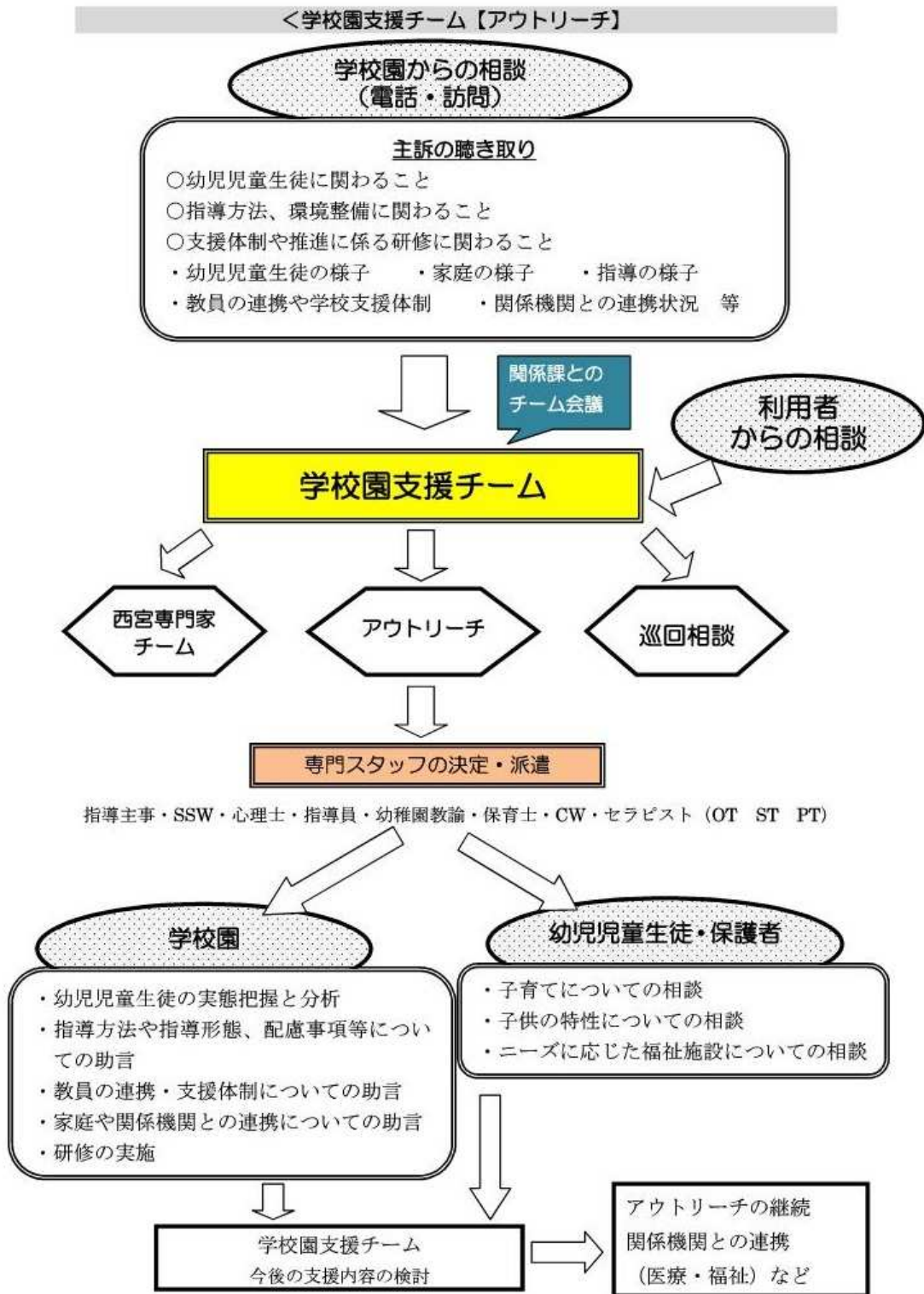
## 7 学校・幼稚園・保育所との連携・支援

さまざまな課題のある子供を支援するうえで、子供をとりまく環境や状況を整え、関係者が連携することは大きな意味を持っています。こども未来センターは、子供が普段の生活で最も長い時間を過ごす学校・幼稚園・保育所等と連携し、必要な支援を行います。

取り組み内容	内容	利用実績(前年度)
相談	電話等による相談 学校園、保育所、関係機関からの相談に対して、内容を伺い今後の対策を共に考えます。必要に応じてその後面談等を行いながらニーズの整理についてお手伝いします。その上で支援ツールについて紹介したり、当センター内外と協働しながら支援策について提案しています。	
	センター専門職によるもの 学校からの要請はもとより定期的に学校園諸施設を訪問(アウトリーチ)し、生育環境や発達障害などが原因で集団生活に不適応を起している幼児児童生徒に関する事、その他障害の状況に応じた生活改善や克服に関する事など、相談員(臨床心理士・スクールソーシャルワーカー)がその対応や支援方法について提案し、学校園支援体制に参画しています。	総派遣回数 556回(332回) 校種別派遣回数 保育所 15(-) 幼稚園 61(37) 小学校 293(239) 中学校 119(10) 高等学校 0(3) 関係機関 68(43)
アウトリーチ	西宮専門家チーム(*)の派遣 発達障害等による生活や学習上の困難を改善または克服するための教育的支援を求めている学校園及び保育所等、あるいは幼児児童生徒及びその保護者に対して、早期の実態把握や望ましい対応について専門的な意見を示してもらいます。	総派遣回数 245回(210回) 校種別派遣回数 幼稚園 12(10) 小学校171(141) 中学校 38(11) 高等学校0(0) 研修等 24(48)
	巡回相談員(特別支援学校専任コーディネーター)の派遣調整 特別支援学校は、地域の特別支援教育推進の中核的な役割(センター的機能)が求められており、専任のコーディネーターが配置されています。高い専門性のある特別支援学校専任コーディネーターと連携を図り、必要に応じて支援を求めている学校の実情を伝えるとともに、派遣の依頼をしています。	
技術指導	施設支援一般指導事業 来園および訪問により、障害児が通う保育所、幼稚園、学校、施設などの職員からの相談に応じ、主として診療所のスタッフによる技術指導を行います。	169人 (354人)
判定支援	あゆみ面接 現在保育所に通所していたり、今後入所予定の乳幼児のうち、加配保育士による支援が必要かどうかの判定支援をするための医師を派遣しています。	
	就園相談 次年度就園予定の幼児の内、加配保育補助員による支援が必要かどうかの判定支援をするための臨床心理士を派遣しています。	

\*)専門家チーム:医学、心理、教育等の各分野において、発達障害等に関する専門的知識を有する医学関係者、心理関係者、教育関係者により構成しています。

＜こども未来センター アウトリーチ実施フロー＞



＜施設支援一般指導事業 実績＞

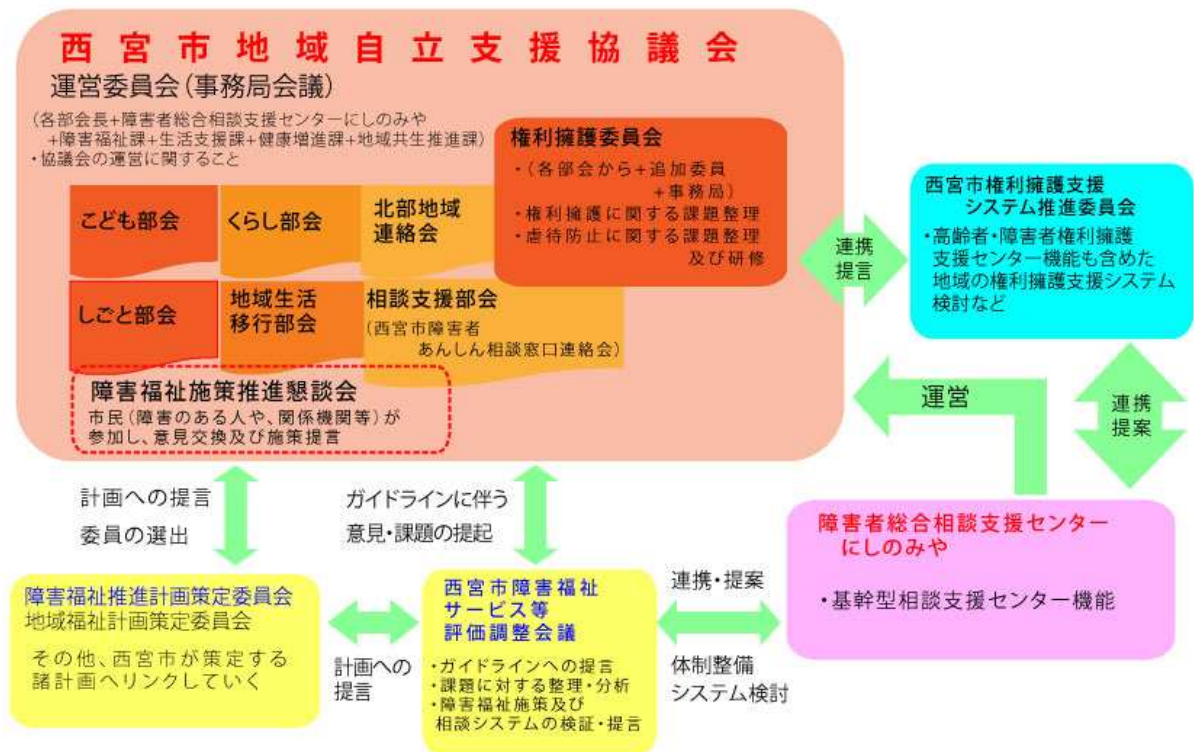
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
利用者数	83	91	84	88	113	200	243	354	169

## 8 地域との連携

さまざまな課題のある子供に対して、より広い協力や連携が必要な場合に、関係機関などとの連携をとりながら支援を行います。また、早期の気づき・発見を早期の支援につなげていけるよう、ネットワーク作りを行っています。

種別	区分	内容	実績(前年度)
西宮市地域 自立支援協議会 (みやっこ会議)	こども部会	事務局として運営を担っています。 ・部会:毎月第2水曜日 13:30~15:30 ・事務局会議:毎月第4火曜日 17:30~19:30 ・セミナー: 「みやっこ会議兼特別支援教育ネットワーク会議」	セミナー 8月3日開催 249名参加 ※相談支援部 会と共催
	相談支援部会	相談支援専門員が参加しています。 ・部会:毎月第2火曜日 10:00~12:00 ・事務局会議:毎月第3水曜日 18:00~20:00	
	運営委員会	・運営委員会:奇数月第1木曜日 10:00~12:00	
	その他	全体フォーラムや「西宮市民まつり」「輪イ和イひろば」等に参加しています。	
関係機関 ・団体等	障害者総合相談 支援センター にしのみや	みやっこ会議や障害児相談支援・計画相談支援等の相談支援事業の他、当センターの利用者が成人に向うにあたり、つなぎ先としても連携しています。	
	地域保健課 (西宮市保健所)	乳幼児健康診査等を契機に支援の必要な子供に関して当センターへの紹介元として、及びその後の支援についても連携しています。	こども未来 センターへの 紹介件数 159件(98件)
	子育て総合 センター	子育て一般の広い相談の中で必要に応じて当センターへのつなぎや「ひょうごっ子悩み相談センター」で実施する教育相談を共に担当して連携しています。	こども未来 センターへの 紹介件数 15件(6件)
所属関係 団体等	近畿肢体不自由児 施設連絡協議会 (近肢連)	近畿地区の肢体不自由児等の発達支援を行う施設・事業所で構成されており、施設・事業所間や関係機関との連絡・調整、情報交換をはじめ、障害のある子供たちの医療・保健・福祉に関する調査研究などの活動を行なっています。 ①療育研究大会 ②部会研修(看護部会、給食部会、理学療法・作業療法部会、言語部会、心理相談部会、保育部会)	
	西宮市要保護児童 対策協議会	虐待を受けている児童を始めとする要保護児童の早期発見や適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援と、関係する機関の連携による組織的・効果的な対応を図るため設置している西宮市要保護児童対策協議会(通称みやっこ安心ネット)の実務担当者会議にスクールソーシャルワーカーが出席するなど連携を図っています。	

＜西宮市地域自立支援協議会（みやっこ会議）の組織・構成＞



(出典) 西宮市地域自立支援協議会サイト (<http://nishi-jiritushien.jp/>)

## 9 講座・研修・人材育成

保護者や関係者・教職員等に対するさまざまな講座や研修等のプログラムを実施しています。また、医師・セラピスト・保育士などの施設実習の受入を行い、人材育成に協力しています。

取り組み内容	内容	利用実績(前年度)
一般向け 発達障害の学習会	毎日の育児に生かせるような関わり方のヒントや支援グッズの作成、福祉サービス・進路など役立つ情報提供及び保護者間の交流会を行います。 【講師】こども未来センタースタッフ 【対象】発達障害のある就学前児の保護者 【実施形態】3回の学習会がセット (年に2セット開催)	年2回開催(3回) (10月,2月)  参加者数 42人(45人)
発達障害セミナー	発達障害児の発達特性についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応や支援方法について学びます。 【講師】こども未来センタースタッフ 【対象】保育所・幼稚園・学校の教職員	4回実施(7回)  参加者数 149人(52人) 延 254人(100人)
専門職向け 身体障害セミナー	身体障害児の幼児期・学童期における発達の課題についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応・支援方法を学びます。 【講師】こども未来センタースタッフ 【対象】保育所・幼稚園・学校の教職員	3回実施(3回)  参加者数 145人(37人) 延 212人(67人)
特別支援教育 コーディネーター スキルアップ研修 (平成28年度新規事業)	子供の発達を医療、心理、福祉、教育など多様な観点からアセスメントできる力を養うとともに、具体的な支援方法の提案や組織的対応のコーディネートなど、教育現場における子供の発達支援の指導的立場となる教職員を育成することを目的としています。 【講師】外部専門家 【対象】西宮市立小中学校教員	参加者 18人
教職員 研修企画 への協力	特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、そのほか特別支援に関わる教職員に向けた研修を特別支援教育課と連携し、計画・実施しています。	
実習生受入 臨床実習	医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士の教育機関(大学・専門学校等)からの実習生を受け入れています。	受入人数 25人(23人)
その他 ボランティア活動 (受入)	、わかば園内での活動(通園児の食後の見守り、療育活動中の保護者支援、環境整備(教材等の製作、用具の修理、活動準備等)、行事等での対応(案内配布、当日の活動支援))にご協力いただいています。	人数 4人(3人) 延 249人(243人)

## (1) 一般向け

### ア 発達障害の学習会

子供の発達をもっと知って、もっとうまく関わって、育児をもっとやりやすくして、子育てを楽しめるように、そして保護者が気軽に話せる交流の場とするために企画された3回シリーズの学習会です（平成24年度より開始）。

#### プログラム内容

- <第1回> ・困った行動の背景と対応法（心理療法士）  
・ことば・コミュニケーションの促し方（言語聴覚士）
- <第2回> ・実習体験：バランス・協調的動きを育てる（理学療法士）  
・目・手・からだの使い方を育てる（作業療法士）
- <第3回> ・福祉サービスや就園・就学について（地域・学校支援課）

	H24	H25	H26	H27	H28
学習会	56人	74人	35人	36人	42人

## (2) 専門職向け

### ア 発達障害セミナー

発達障害の子供の教育・保育に関わっている保育士、幼稚園・学校教諭、及び関係機関職員に対し、発達障害児の発達特性についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応や支援方法について学びます。

#### プログラム内容

- <第1回> ・発達障害児の世界の理解（小児科医）
- <第2回> ・心理検査からみた子ども理解（臨床心理士）
- <第3回> ・発達障害児のことばとコミュニケーション（言語聴覚士）
- <第4回> ・多動・不器用への理解と対応（作業療法士）

	H24	H25	H26	H27	H28
発達障害セミナー	-	-	-	3回 61人 (112人)	4回 149人 (247人)

( )内は延べ人数



## イ 身体障害セミナー

運動や言語の発達に遅れがある子供や身体に障害のある子供の教育・保育に関わっている保育士、幼稚園・学校教諭、及び関係機関職員に対し、乳幼児期から学齢前半期における発達の課題についての理解を深め、日々の保育・教育場面に生かせる具体的な対応・支援方法を学びます。

### プログラム内容

- <第1回> ・運動発達が気になる子どもへの援助の仕方（理学療法士）
- <第2回> ・言葉の発達を育む（言語療法士）
- <第3回> ・遊びや日常生活動作の援助の仕方（作業療法士）

	H24	H25	H26	H27	H28
身体障害セミナー	-	-	-	3回 37人 (67人)	4回 145人 (212人)

( )内は延べ人数

## ウ 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修

- 【講師】 和久田 学 氏(子どもの発達科学研究所主席研究員・大阪大学大学院特任講師)
- 【対象】 西宮市立小中学校教員 18名
- 【内容】 社会心理、生命科学、教育支援 24時間

回	分類	タイトル	内容	時間
1	社会心理	オリエンテーション 制度と法律 合理的配慮	本研修の位置づけ・発達障害者支援法・障害者差別解消法 ・特別支援教育と合理的配慮	1.5
	生命科学	脳の発達と発達障害	発達障害の正確な理解・被虐待児の理解	1.5
2	教育支援	行動支援の方法	行動目標の立て方・行動支援の方法・応用行動分析の考え方	1.5
	教育支援	事例検討会の方法 模擬事例検討会	事例検討会の方法・模擬事例検討会	1.5
3	社会心理	被虐待児への支援	被虐待児への具体的支援方法	1.5
	社会心理	家庭支援 ケースワーク	家庭支援の方法、連携	1.5
4	教育支援	学習支援	学習障害児への対応・ワーキングメモリー実行機能への支援	1.5
	教育支援	コンサルテーション	コンサルテーションの方法・模擬事例検討会	1.5
5	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察(演習)	3
6	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察(演習)	3
7	教育支援	巡回相談	各学校の実際を視察(演習)	3
8	生命科学	子供のこころと脳の発達	感覚と認知と行動の関連・思春期と脳の発達	1.5
	教育支援	支援の発展のために	典型例の研究・予防的介入・最先端の知見	1.5

### (3) 教職員研修企画への協力

特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任、そのほか特別支援に関わる教職員に向けた研修を特別支援教育課と連携し、計画・実施しています。

研修名	対象	人数	回数
特別支援教育コーディネーター研修	幼小中高特のコーディネーター	85	3
特別支援学級担任研修	小中の特別支援学級担任	365	3
特別支援教育支援員研修	小中の特別支援教育支援員	116	2
保育補助員研修	幼の保育補助員	35	1
ノートテイク研修	難聴の子供に関わりのある教職員	11	1

※その他、特別支援学校主催の研修や県教委主催の研修についても紹介とまとめをしています。

### (4) 実習生受入

実習内容	学校名	人数	時期
PT 臨床実習	甲南女子大学	1	平成 28 年 6 月～7 月
	神戸学院大学	1	平成 28 年 4 月～5 月
	平成リハビリテーション専門学校	1	平成 29 年 1 月～2 月
OT 臨床実習	神戸医療福祉専門学校(三田校)	1	平成 29 年 1 月～2 月
	兵庫医療大学	1	平成 29 年 2 月
	兵庫医療大学	1	平成 28 年 6 月～7 月
ST 臨床実習	神戸総合医療専門学校	1	平成 28 年 10 月～11 月
看護師実習	神戸常盤大学	6	平成 28 年 11 月～12 月
	西神看護専門学校	5	平成 28 年 9 月～10 月
医師実習	兵庫医科大学	2	平成 29 年 1 月～2 月
保育実習	同志社女子大学	1	平成 28 年 7 月
	武庫川女子短期大学	1	平成 28 年 8 月～9 月
	聖和短期大学	1	平成 29 年 2 月
	甲子園短期大学	2	平成 29 年 2 月
<合計>		25	

### (5) ボランティア活動（受入）

市民の社会参加ニーズに応え、わかば園内での活動（通園児の食後の見守り、療育活動中の保護者支援、環境整備（教材等の製作、用具の修理、活動準備等）、行事等での対応（案内配布、当日の活動支援））を支援しています。ボランティアの育成を通じて、地域に開かれた施設を目指します。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ボランティア	246 回 (7 人)	258 回 (11 人)	245 回 (6 人)	257 回 (6 人)	243 回 (3 人)	249 回 (4 人)



